

第7回工学系技術部技術発表会報告

去る9月2日(火)第7回工学系技術部技術発表会を開催しました。

本技術発表会は技術職員・技術補佐員が業務や研修で得た知識と経験を発表し、意見交換及び技術的交流と資質の向上を図る目的で毎年9月に開催されているものです。

発表は総合研究棟3階を会場に口頭発表とポスターセッションに分かれて行いました。参加者は本学技術職員・技術補佐員、教員、事務局からの参加者だけでなく北関東の国立大学、高工ネ研、東工大などからの参加者を合わせて72名となり盛況の内に執り行うことが出来ました。

発表は工学系の技術職員・技術補佐員が中心となって行いましたが、今回より技術職員相互交流を図るため外部発表者を募集しました。群馬高専及び本学医学部の技術職員から参加の申し出があり、発表してくださいました。

特別講演では本学教員である板橋教授と岩崎准教授に快諾していただき、板橋教授の「研究は楽しい」、岩崎准教授の「老築化構造の自動劣化診断システムの開発」専門的な内容を含みながらも分かりやすく興味深い講演をしていただきました。

発表会後に「桐園」にて行われた懇親会には57名の参加があり、参加者相互の親睦を深めることが出来ました。同席していただいた学部長や事務局の方より激励をいただき、他大学の参加者とは互いの大学の技術職員の置かれた現状や相互交流について有意義な意見交換を行うことが出来ました。



口頭発表の様子

「機器・分析技術研究会」優秀賞を受賞

平成20年9月25日、26日の2日間、愛媛大学主催で開催された平成二十年度機器・分析技術研究会において研究推進支援センターの中澤剛技術職員が優秀賞を受賞した。

この賞は、中澤職員が「マルチメディアを活用した機械工作の安全技術教育」と題し行ったポスター発表が、見る人の印象に残る優秀な発表であったとして贈られたものである。この研究会は、大学・高等専門学校および大学共同利用機関等に勤務する技術職員が自主的な技術発表と討論を通じて技術研鑽をし、さらに技術職員相互の交流を深めることを目的として毎年行われており、今年度はポスター発表71件を含む、177名の参加者があった。技術職員の業務の一つである学生への技術指導を充実させるため、中澤職員が取り組んできた教材開発がこのように形で評価されたことは、今後の技術部の励みになると確信している。



「大学等環境安全協議会プロジェクト」採択

本年度大学等環境安全協議会プロジェクトの募集にあたり、『安心安全な飲料水確保に向けて』（関山・井田・

相羽・木間）として応募した結果採択され、10万円の研究助成を受けることになった。

安全衛生委員会報告

「大学等環境安全協議会」参加報告

大学等環境安全協議会は1979年に「国立大学廃液処理施設連絡会」として発足した。現在は廃棄物処理・環境保全・安全衛生をキーワードに大学、高専等で組織し、情報を交換し、教職員相互の資質向上を図ることを目的としている。

メンバーは大学、高専、文科省所属機関の個人団体会員

「メンタルヘルス対策総合セミナー」参加報告

8月21日、22日と、中央労働災害防止協会主催の「メンタルヘルス対策総合セミナー」に出席させていただいた。会場は安全衛生総合会館(東京都港区芝5-35-2)、対象は、人事労務担当、衛生管理者・保健師等の産業保健スタッフであり、80名以上の出席があったが、出席者の多くが人事労務関係、保健師等であり、私のような衛生管理者はわずかであった。

このセミナーは、厚生労働省が定めた「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に基づくものであり、事

や、関連産業界の賛助会員まで約250人で構成されている。

毎年7月に技術分科会、11月に総会・研修会が開催されている。群馬大学工学部技術部からは平成19年7月技術分科会(岩手大学)に3名が参加し、事例報告を行った。

平成20年度の技術分科会は、7月24日から25日に茨城県民文化センター(水戸市)で開催され、2名が参加した。

業場として、心の健康づくり計画の策定や、メンタルヘルス不調への対応、職場復帰の支援、職場環境等の改善まで、メンタルヘルス対策における実施内容を包括的に学ぶことを目的としている。

主に民間企業相手のセミナーであったが、自治体の保健師や独立行政法人関係者なども多数来ていた。メンタルヘルスの問題は、民間、官公庁を問わず重要な問題となっていることの表れのように思われた。

「化学安全スクーリング 2008 - 化学実験室における安全管理指導者の養成 - 」参加報告

主催：日本化学会 環境・安全推進委員会

会期：平成20年8月7日(木)～8日(金)

会場：化学会館会議室(東京都千代田区神田駿河台1-5)

募集人員：50名

対象：

- ・化学実験を行なう大学・研究所等の安全管理担当者、指導者。
- ・化学のみならず広く科学分野で実験活動および実験施設に関わる大学・研究所の研究者・学生ならびに技術職員。

・化学企業の研究所、プラント、生産現場で安全管理に関わるすべての者。

趣旨：

- ・化学実験に関わる安全と衛生に関して総合的に学ぶ講習会。
- ・安全・衛生管理の基本から、事故事例やヒヤリハット、そこから導き出される教訓と、改善や安全教育のあり方、化学物質の潜在危険と取扱方法、救急対処法などを解説するもの。

以上です。

技術環境整備グループ活動報告

昨年度までも技術部では、学内設備の製作・設置や、廃液処理施設の整備など校内環境の整備を行ってきました。

本年度からは、新たに技術環境整備グループを立ち上げ、活動を組織化し、より安全・快適な学内環境の実現に向けた活動を始めることになりました。グループは、機械・電気・情報・社会環境デザインなど幅広い分野の技術職員、総勢17名から構成されており、様々な技術環境の整備を行える体制になっています。

立ち上がったばかりのグループですが、既に活動を開始しており、e自警ネットの設置や駐車場の注意看板の製作・設置などを行いました。

今後も、技術力を生かして本学の環境改善に貢献していく予定です。

2008年4～6月の主な活動内容

e自警ネット設置作業

5月13日(火) 建築棟配線用モール取り付け工事

6月3日(火) 建築棟e自警用PC移設・配線工事

6月17日(火) 原動機棟 e自警用設備設置作業
駐車場注意看板の製作・設置

6月9日(月)～11日(水)

看板の製作:看板用材料の機械加工・組立・
注意標識シールの製作
ペンキ塗装 など

6月12日(木) 駐車場への看板設置作業

